

姫路特別支援学校分教室の設置に向けて 共に学びました!

十月二十五日(月)から二十九日(金)まで、本校の新館で行われた「現場体験実習」についてお知らせします。次年度4月より本校の新館を利用して姫路特別支援学校(以後「姫特」と表記)の分教室が設置されます。これに向けて姫特の高等部生徒を本校新館に迎えて両校生徒による学習を行いました。現場体験実習では、職業自立を目指す姫特高等部生と本校の希望生徒がともに作業をしながら学びを深めることができました。今回は、企業に納品をするタオルや割り箸の袋詰めを行いました。職業自立に向けた訓練としての作業学習は、姫特の2名の先生の指示のもと、張り詰めた雰囲気の中で整然と進められました。最初は戸惑っていた本校生もしつかりと流れに対応し、姫特生の学びに対する真摯な態度に大きく心を揺り動かされたようです。



本校からの参加メンバー (A班)



割りばしの袋詰め作業

現場体験実習に参加したのは初めてで、少し不安もありましたがとても楽しかったです。先生たちの口調が少しきつかったのですが、それは生徒さん達のためだと聞いてとても感動しました。私たちが何気なく使っている割りばしや景品のタオルが大変で難しい作業でできていることを知りました。とても貴重な経験をさせて頂いてとても感謝しています。これからも姫特との交流があれば、全て参加していきたいです。

(参加生徒感想文より)

姫路特別支援学校の「ひめよう祭」に参加しました!

友好交流三本柱や現場体験実習に加え、姫特の学校祭である十一月の「ひめよう祭」にも例年通り本校の希望生徒が参加をしました。小学部の作品展示、中学部及び高等部の作品や農園収穫野菜の販売や、同校の関係施設や作業所の製品販売が行われる中で、本校も手作りクッキー販売という形で参加をさせていただきました。

参加した生徒も姫特の生徒や保護者の方々、そして先生方にお褒めの言葉をいただき、大きな達成感を味わえたようです。さらにそれだけではなく、姫特の皆さんの手作り作品や販売品の出来映えのすばらしさや積

極的な対応に感銘を覚えた本校生も多かったことと思います。次年度の分教室の設置が待ち遠しく思える行事となりました。



心をこめてのクッキーづくり



ひめよう祭でのクッキー販売

平成二十三年度 姫路特別支援学校分教室を設置

来年度からの分教室では姫特高等部の生徒が、入学から卒業までの3年間、本校敷地内で学びます。授業は、分教室独自の教育課程にもとづいて行われますが、両校生徒が一緒になつて交流及び共同学習を行う機会も設定されます。分教室が設置される目的は次の3点です。

- ① 同一敷地・校舎内で学校生活を共にすること、行事などを共に行うこと、共に学ぶ授業を通して、両校の二十年を超える交流活動の結果をさらに発展させ、「共生の心」を育む。
- ② 情報・商業・福祉系の専門的な科目を選択して学ぶことができる本校の自己探究類型において、ボランティア精神や生命を尊ぶ姿勢の育成など、さらなる教育の充実を図る。
- ③ ノーマライゼーション社会に向けて、姫路特別支援学校の生徒に対する正しい理解と認識を深める。

